

やよいちゃんとゆみちゃん

今回は、ある年の暮れに行われた「遠州・森町 ティピーテント&自然交流合宿」に、ご参加頂いたやよいちゃんとゆみちゃんのことを書かせて頂きます。

やよいちゃん、ホント、この度は大変お世話になりました。ありがとうございました。大先輩にも拘わらず、”やよいちゃん”呼ばわり致しまして、大変失礼致しました。あなたのお陰で、たった一人でこの合宿に参加した中3のゆみちゃんは、初日からすっかりみんなとうち解け、大変楽しく、且つ、大変有意義な経験となり、彼女は大きく変わりました。

初日の晩、ゆみちゃんはやよいちゃんに、いきなり参加した年長さんの女の子達のお風呂入れをやらされる。でも、小さい子達の面倒を見ることは、彼女にとって大好きで大変な意義があったんです。自分のそんな本当の姿を知るきっかけになったんです。

2 日目の”足の裏落書き事件”でも、やよいちゃんはゆみちゃんの素直な面とお茶目の面を自然に引き出してくれたんです。あれは傑作でしたね。足の裏に落書きされたMさん(初参加のスタッフ)もびっくり。まさか寝てる間に、やよいちゃんの発案でゆみちゃんに、自分の足の裏に〇×の落書きされたとは知らず、朝食の時にその旨を知らされ、みんなの前で自身の足の裏の落書きを見て、ホント驚いていましたね。その時のゆみちゃんの底抜けの笑顔。よかったですね。



12/23 夜、Mさんの足の裏に落書きしたゆみちゃん

中2の2学期からあることをきっかけに不登校気味になった彼女も、高校進学の方角も決まり、あれからは冬休みはほぼ毎日、3学期からは学校は休まず登校し、週3日入学試験に向けて私にところに勉強しに来ております。やはり幾多の人生を乗り越えてきたやよいちゃんですね。ありがとうございました。ゆみちゃんもよかったですね。

追伸. やよいちゃん、あなたの漬け物は抜群に美味しいです。図々しいですが、よかったですらもっと頂けますか？この時期(1月)、たくわんがほしい……

やよいちゃんのこと”2002.1.13(sun) (「小さな人間たちの詩」に掲載させて頂きました。)